

会議の名称	加納小学校 第1回学校運営協議会	
開催日時	令和4年4月28日(木) (開会) 10:00 (閉会) 11:30	
開催場所	加納小学校 会議室	
出席者氏名(委員)	並木 ゆき子委員、吉田 耕造委員、加藤 進委員、 林 保代委員、鈴木 勝彦委員、手塚 清香委員、 木全 美幸委員、橋場 能成委員、高橋 陽太委員、 校長 杉山 由美子	
欠席者氏名(委員)	本木 隆委員	
傍聴者	0名	
議題	(1) 委員及び副委員長、事務局担当の選出について (2) 学校経営の基本方針及び教育活動の概要説明 (3) 今後の取組について (4) その他	
協議 等 要 旨	協議結果	意見の概要
	(1) 委員長 本木 隆 副委員長 並木 ゆき子 事務局 橋場能成、高橋陽太	
	(2) 承認	<ul style="list-style-type: none"> <li>『4 具体化に向けた視点 (4) 特別支援教育の視点を生かした取組』とは具体的にどのようなものか。 →一人一人の個性を大切にすること、ユニバーサルデザインの視点を持った児童にとって過ごしやすい教室環境、教師の指示発問は短く端的に表現することなど。</li> <li>児童理解委員会とはどのようなものか。 →月に一度開催され、気になる児童の情報を共有し、支援方法を協議するもの。</li> </ul>
(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTの有効な活用</li> <li>ウィズコロナの生活</li> <li>交通安全対策</li> <li>交流、異校種連携</li> <li>教職員の働き方改革</li> </ul>	<p>(授業参観を終えて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の児童はとても静かな様子。少し心配。ストレスがたまるとはならないか。</li> <li>教室の配置について。1年生と2年生の間がとても離れている。 →校舎の構造上の配置。</li> <li>ICT 機器の活用、コロナ対策に教職員の努力や頑張りが見られる。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末を使って学習している様子を初めて見る事ができた。特別支援学級と通級指導教室の違いを理解した。</li> <li>・コロナ対策が身についた生活の様子を見ることができた。</li> <li>・これまであった給食の時間などの学年間交流がなくなってしまい、寂しい。特別支援学級の児童と、行事を通して自然に関わっている様子が見られる。異校種との連携も、工夫をして継続してほしい。</li> <li>・コロナ禍であることの捉えを、ピンチからチャンスに変換してほしい。ICT 機器をうまく活用していくためには、教職員の研修が充実していくとよい。</li> </ul>
<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和4年度第1回加納小学校学校運営協議会 資料</li> <li>(2) コミュニティスクール リーフレット</li> <li>(3) 桶川市学校運営協議会規則</li> <li>(4) 令和4年度加納小学校ランドデザイン</li> </ul>	